

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～

“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」

平成30年度実績報告書

「まちづくり・お宝バンク」の取組提案 実績（平成30年度）

京都のまちの様々な課題の解決を「ひとごと」とせず、市民と本市が共に「自分ごと」、「みんなごと」と捉えて協働するまちづくりを推進するため、広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集し、「まちづくり・お宝バンク」に登録・公開するとともに、提案の実現や市政への反映に向け、多彩な市民力・地域力を活かした、きめ細かなサポートを行っている。

1 「お宝バンク」取組提案者の主な活動

30年4月

提案者同士の連携により、ゲストハウスで障害のある方が実習を開始

取組提案者: ^{ホステル ニニルーム}HOSTEL NINIROOM,

就労移行支援事業所スマイルプラス

提案者同士を京都市が

マッチング！！

ゲストハウス内を整えるスタッフを募集されていたHOSTEL NINIROOMに、スマイルプラスの実習生2名が平成30年3月から入り、洗い場・ベッドメイキング・掃除機など宿泊業にとって大切な裏方の業務を担いました。実習生は無遅刻・無欠席で継続して参加することができ、スタッフの方からは「仕事がとても丁寧」とお褒めの言葉を頂きました。

5月からは有給アルバイトと実習の併用の提案もいただき、自信につながったそうです。スタッフのみなさんがとても温かい雰囲気でお実習生を迎え入れてくださったことと、実習生の体調に配慮したシフト体制を組んでくださったことで、実習生が就労に向けて前向きに取り組むことができました。



30年4月

インド式教育のインターナショナルスクールの開校

取組提案者: ^{レディーフォー}NPO法人インド日本友の会, READYFOR株式会社

提案者同士を京都市が

マッチング！！



インド式教育のインターナショナルスクールの開校に向けた準備・運営資金等を確保するため、READYFOR株式会社のクラウドファンディングサービスを活用し、平成29年12月15日に115%の達成率で目標額(200万円)を達成しました。

その後、本市の関係部署と連携しながら取組を進め、平成30年4月6日に伏見区の向島セミナーハウスにおいて「チャンドラ・セカール・アカデミー・インターナショナルスクール京都校」を開校しました。開校式では、在大阪・神戸インド総領事館 総領事 T. アムストロング・チャングサン様、門川 大作 京都市長、支援者代表 京都市会議員 中村 三之助様などの来賓の方々をはじめ、クラウドファンディングの支援者も多く臨席され、和やかに開校記念式典が執り行われました。

今後は、英語教育をはじめ、IT 教育、ヨガ、日本文化、マナーを教え、日本の「志」をともに大切にする教育活動を行っていかれる予定です。



30年8月

ヤッサン一座の紙芝居「おたすけじぞう」を「親子で体験！京の地蔵盆」で口演！

提案者と京都市が連携！！

取組提案者: ヤッサン一座の紙芝居



平成30年8月8日(水)にイオンモールKYOTOにおいて、京都をつなぐ無形文化遺産「京の地蔵盆」などの普及啓発を目的としたイベント、「親子で体験！京の地蔵盆」が開催され、会場の一角で、ヤッサン一座の紙芝居 はるるさんが「おたすけじぞう」や「ももたろう？」などの紙芝居を披露しました。

絵本の「おたすけじぞう」は「第13回えほん大賞」のストーリー部門で大賞を受賞しています。当日は、大勢の子ども達が紙芝居の前に座り、自転車の上に乗せた紙芝居を食い入るように見て、たくさんの笑い声が響いていました。

30年9月

京都から世界へ！「ピースラン」の開催

提案者と京都市や様々な団体が連携！！

取組提案者: ピースラン京都事務局



国連の定めた「国際平和デー(9月21日)」に合わせて、京都市内で9月20日から25日までの6日間、ピースランの特別イベント「KYOTO フェスティバル・オブ・ピース2018」を開催しました。

日本では21回目のピースラン・イベントで、京都市では初の本格開催となった今回は、9ヶ国からの多国籍のボランティア・ランナーを迎え、左京区役所をかわきりに、京都市内の小学校や京都サンガホームゲーム、みんなのスポーツフェスタ等の場で、約3,000人の子どもたちや市民の方々にご参加いただきました。



光華女子学園にて執り行われた最終日の閉会セレモニーでは、光華小学校金管クラブと京都光華中学校・高等学校吹奏楽部の皆さんが、すばらしい演奏とダンスを披露して盛り上げてくれました。最後に、市長ご出席のもと、パラオへ向かうメンバーに「平和の絵皿」の贈呈とピーストーチの引き継ぎがされ、心に残る時間となりました。

京都から皆さんの平和の願いを込めたピーストーチは、次のピースラン開催国である南太平洋のパラオ国へと繋がれていきました。



“音楽”をテーマにしたお宝バンク取組 提案者同士の特別編成グループが実現！

提案者同士と京都市
が連携！！

取組提案者:ピア・パレードおぐらひろみ
SUKIDARAKE MAFIA

平成30年10月20日に開催された「ほほえみ広場2018」(主催:京都市障害保健福祉推進室)のステージに、SUKIDARAKE MAFIAとピア・パレードおぐらひろみさんの特別編成グループが出演しました。
「いろんな世代が親しめるたのしい音楽」「ヘルプマークの普及」というそれぞれの団体の強みを活かして協働申請することで、見事出演枠を獲得しました。
当日は先ず、おぐらさんがヘルプマークの紹介をしました。実際にご自身が使用されているヘルプマークを掲げながら、「ヘルプマークを見かけたら、『何かできることはないですか』と声を掛けてもらえると嬉しい。」と、ヘルプマークを持っている人への配慮を呼びかけました。その後、「上を向いて歩こう」を手話ダンス付きで披露し、SUKIDARAKE MAFIAのオリジナル曲も披露しました。お天気にも恵まれ、SUKIDARAKE MAFIAとおぐらさんの奏でる音楽が青空に響き渡り、一緒に踊ったり手話をしてくださる観客もおり、とてもあたたかい雰囲気ステージとなりました。



「認知症にやさしいまちづくり」のための ランニングイベント～RUN伴～の開催

提案者と京都市が
連携！！

取組提案者:高齢者福祉施設西院^{さいいん}

RUN伴とは、認知症になっても暮らしやすいまちづくりを目指して取り組むランニングイベントです。平成30年10月27日(土)に開催した「RUN伴2018」京都は、快晴の青空のもと、大盛況のうちに終了することができました。
今回は昨年度の倍の人数の方のエントリーがあり、京都市内11行政区を回るルートを作ることができました。地域ごとの特色を出したルートもあり、「認知症にやさしいまちづくり」をキーワードに地域の方同士がつながり、思いを共有できる機会にできたのではないかと考えています。来年はさらにこのつながりが広がっていくことを願っています。



30年7月、11月

カフェや子ども食堂を通じた、地域や子どもの居場所づくり

取組提案者: ボランティア団体ハピネス



ボランティア団体ハピネスでは、南区唐橋の唐橋文化教育会館で、これまでから「ハピネスこども食堂」を実施してきました。

子ども食堂の運営を通じて、唐橋地区における高齢者の一人世帯の多さや、孤食による子どもたちへの影響の深刻さ、ひきこもりから社会復帰を目指すまでの困難な社会状況の課題が見えてきたことから、地域のの方々や子ども達の居場所となる「ハピネスカフェ」を設立しました。カフェ設立にあたっては、クラウドファンディングを用いて資金調達を行いました。

提案者と京都市が
連携！！

30年11月

ヒト本来の子育て“共同養育”の研修会を開催

取組提案者: 京都大学大学院 明和研究室, 日本胎教協会



京都大学大学院 明和研究室では、ヒトの生存を可能にしてきた子育てとは何か、それに必要な条件とは何かを科学的に明らかにすることで、現代の子育て問題の根幹をはじめ理解することができると考えています。こうしたアプローチから現場の専門家を支え、ヒトの本来の子育てである共同養育の実現をみなで目指していく活動の一環として、育成推進課との意見交換の中から、保健師等が対象の「母子保健業務説明会」(平成30年11月12日)における講演が実現しました。

提案者同士と京都市
が連携！！

30年11月

車いす点検プロジェクトを実施

取組提案者: 京都車いす点検ボランティア「スマルク」



車いすの無料点検・調整を行っているボランティア団体「スマルク」が各区役所で貸し出している車いすの総点検プロジェクトに取り組んでいます。公共施設等で車いすの貸し出しを行っていますが、車検のような定期点検の義務がないため、車いす購入後は整備が行き届かないことも多くあります。スマルクでは、42の安全チェック項目に沿って、空気圧のチェック、パーツの緩み、車体のぐらつきのチェックなど、一つひとつ細やかに点検するため、車いす1台あたり1時間ほどかかるが、故障なく安心して車いすを使ってもらえる環境作りに寄与しています。

提案者と京都市が
連携！！

30年11月

車いすおもてなし隊「クリスマス茶会」を開催！

取組提案者：田中賀鶴代氏（京都観光おもてなし大使）

株式会社アドナース Co-CoLife 女子部京都編集室

提案者同士が連携！！



平成30年11月18日（日）に、グランフロント大阪 ナレッジサロン プレゼンテーションラウンジにて、車いすおもてなし隊「クリスマス茶会」を開催しました。

当日は、車いすおもてなし隊のメンバーが盆略点前でお抹茶を立てて、参加者の皆さんに美味しいお茶を振る舞いました。お茶碗はクリスマス模様、お茶菓子も笹屋伊織のクリスマスリースやサンタのブーツなど、会場中がクリスマス一色で溢れていました。

参加者の皆さんは、一足早いクリスマス気分を味わって、車いすおもてなし隊メンバーのおもてなしをご堪能いただいたようです。

30年11月

アート×子どもの居場所支援をテーマに絵画展を開催

取組提案者：NPO法人ジャパン京都事務所

提案者と京都市が連携！！



現代国際巨匠絵画展
入場無料



11月24日～26日に、ウイングス京都1階ギャラリーにおいて「現代国際巨匠絵画展」が開催されました。絵画展での売上の一部が花園ジョイフル子ども会の活動資金に充てられるということで、23日のオープニングセレモニーには多くの支援者が来場されました。

会場内には子どもたちが描いた絵や花園ジョイフル子ども会の活動紹介の展示物、はあと・フレンズ・ストアの商品等が並びました。また、スペインから来日したエンリク・ルビオ画伯から市長へ絵画が贈られ、終始、和やかな雰囲気でのセレモニーとなりました。

30年11月

「みんなにやさしい KYOTO ユニバーサルデザインガイドマップ Vol.2 京都駅とその周辺」が発行！

取組提案者：京都光華女子大学・短期大学部 ユニバーサルデザイン研究会

提案者と京都市が連携！！

「みんなにやさしいKYOTOユニバーサルデザインガイドマップ Vol.2 京都駅とその周辺」が発行されました！

前回の「四条通界限/西院・大宮・烏丸・河原町編」も好評でした。今回は、情報量が多く、建物の構造も複雑な京都駅とその周辺編ということで、ガイドブック作成にあたった学生さん、顧問の先生も調査と編集に苦労されたそうです。その努力の結晶といえるガイドブックが完成し、京都市内の各所に配架されています。京都市内の観光案内所をはじめ、下京区役所や南区役所にも配架されています。



31年1月

「若草プロジェクト」シンポジウムの開催

取組提案者: 京都府更生保護女性連盟

京都府更生保護女性連盟が進める若草プロジェクト in Kyoto の取組で、平成31年1月26日(土)に同志社大学寒梅館ハーディーホールにて公開シンポジウムが開催されました。「若年女性・少女をいかに地域で支えるか」をテーマに、実際に少女の支援に携わっている高橋弁護士、詩人であるセーラー服の歌人の鳥居氏の講演とともに、後半は3人のパネリストによるパネルディスカッションが実施され、地域の中で伴走者となり自立を支えるためにはどうすればよいのか探っていました。

提案者と京都市が
連携!!



31年3月

連続講座「くらしの学び庵」 修了生の同窓会ワークショップを開催

取組提案者: 京都大学こころの未来研究センター

平成31年3月9日に開催された「くらしの学び庵」同窓会ワークショップでは、約20人の修了生が集まって交流を図った後、後半は4つのグループに別れてワークショップ形式で意見交換を行いました。具体的には、ワークショップ前に話した「学びの活用」の結果を踏まえて、「ここがまだ足りない」「こういうことをもう少し学んでみたい」など、これまで続けてきた「くらしの学び庵」連続講座の今後の展開を考えるべく、講座内容について話し合いました。「認知症、体について、事例を交えながら学びたい」など、実践的な内容を求める声から将来の展望にいたるまで、幅広い意見が出るなど、充実の会となりました。

提案者と京都市が
連携!!



31年3月

お寺の未来を語る「お寺サミット」を開催!

取組提案者: ワカゾー, 菅真継氏, 昌慈法衣店

提案者同士を京都市が
マッチング!!



テーマは「お寺」。宗教施設ではありますが、京都のまちを構成する貴重な文化的かつ景観的資源の一つである「お寺」の可能性が、若者を中心に見直され始めているのを感じます。思いを同じくしながら、立場の違うメンバーによる議論が実現。「お寺の可能性」について白熱した意見交換が行われました(平成31年3月18日)。やりとりを通じて「お寺の魅力がそんなところにあったのか」と気づけたり、「自分もつネットワークに活動を紹介します」「お手伝いします」という協力が生まれたり。「お寺の活用を通じて、より暮らしやすいまちにしていこう、京都のまちを盛り上げていこう」という機運が、それぞれの活動を支えあうことで高まっていきそうな予感のする会になりました。これからの活動展開が楽しみです。

31年3月

「ユニバーサルデザイン京都フォーラム 2019」の開催

取組提案者: 京都光華女子大学・短期大学部ユニバーサルデザイン研究会
フードバンク京都

提案者同士と京都市
が連携！！

平成31年3月22日にウイングス京都にて、京都市主催「ユニバーサルデザイン京都フォーラム2019」(保健福祉局障害保健福祉推進室みやこユニバーサルデザイン推進担当)が開催されました。

開始前には、ロビーでフードドライブを実施し、参加者が持ち寄ってくださった食料品はフードバンク京都へ寄付されました。

フォーラム第1部では、京都光華女子大学・短期大学部ライフデザイン学科教授で、ユニバーサルデザイン研究会顧問の井川啓先生が、講演会「デザインの〇と×」に登壇されました。第二部は、ユニバーサル上映「wonder ワンダー君は太陽」が行なわれ、約200名の参加者が、ユニバーサルデザインについて学び、楽しむ時間となりました。



令和元年5月(28年4月～)

「京都市スタートアップ支援ファンド」 による創業支援

提案者同士と京都市
が連携！！

取組提案者: 京都信用金庫, 京都中央信用金庫,
フューチャーベンチャーキャピタル,
日本政策金融公庫, 京都リサーチパーク

創業初期のベンチャー企業の資金調達支援としてファンドを設立し、ファンドを核とした創業支援体制を構築するため、取組提案者と京都市の相互連携・協力を目的とした協定を締結しました(平成28年4月)。

現在(令和元年5月末日時点), 14社の投資先企業を決定し、創業支援を実施しました。



【投資先企業(平成30年度以降)】

- ① 株式会社 Laft (H30.8.17 投資実行)
- ② 株式会社 バイオーム (H31.2.7 投資実行)
- ③ 株式会社 サビア (R1.5.14 投資実行)
- ④ 株式会社 坂ノ途中 (R1.5.15 投資実行)

※28～29年度は「リボンディスプレイジャパン株式会社」を含めて10社へ投資

2 チーム京都の主な活動

取組提案者:移住応援チーム及び京北振興チーム

京都で暮らす魅力の発信や移住相談への対応など、京都市への移住促進に取り組むため、移住応援や空き家活用に取り組む「まちづくり・お宝バンク」取組提案者と京都市職員で、「チーム京都・移住応援チーム」を結成しました。また、右京区京北地域への移住促進を進め、地域の活性化を図るため、「京北振興チーム」も結成しました。両チームが力を合わせ、京都ならではの市民力、地域の多様な魅力を活かした取組を進めています。

【両チームの取組（一部紹介 平成30年度）】

- ・移住相談窓口（市内，京北，東京）の運営
- ・京都移住茶論などのイベント開催（年12回）
- ・ホームページ「住むなら京都」での情報発信



移住イベントの様子

「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」の取組

取組提案者:文化庁京都移転私たちができること推進チーム



「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」第1回会議

文化庁京都移転を契機に、京都に息づく「日本伝統の生活文化、精神文化や、多彩な文化芸術」の更なる振興・発信に取り組むため、「まちづくり・お宝バンク」取組提案者と京都市職員でチーム京都を結成しました。「文化の力で日本を元気にするために、自分たちに何ができるか」を考え行動することにより、他の市民や様々な団体等に、共に行動する動きが、市民運動的に広がることを目指しています。



「文化庁地域文化創生本部設置記念式典」



「いきいき春の文化祭」



松山大耕氏による坐禅体験

【チームの取組（平成30年度）】

- ・西京まちづくりカフェ「ふらっと・西京」（H30年度第1回）において、どらりん劇団による“生活文化のお芝居”を披露（H30.6.27 会場：西京区役所大会議室）
- ・「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」第4回会議において、どらりん劇団による“生活文化のお芝居”を披露（H30.7.13 会場：中京区役所大会議室）
- ・「親子で体験！京の地蔵盆」イベントにおいて、ヤッサン一座の紙芝居 はるる氏による“おたすけじぞう”等の紙芝居を披露（H30.8.8 会場：イオンモール KYOTO）
- ・「マイ文化」の発信企画（※）の実施（H30.10～）
 （※）市民が身の回りにある“暮らしの文化”や“生活文化”などの幅広い文化に気づいても
 らい、フェイスブックやインスタグラムなどのSNSを用いて、市民自らが「#（ハッシュ
 ユタグ）」を付けて「マイ文化」を投稿することで、市民一人ひとりが文化の受け手では
 なく、発信者になってもらい、市民全体に文化の裾野が自然発生的に広がっていくことを
 狙った取組
- ・「中京マチビト Cafe」“マチビト×文化のチカラ”（H30年度第1回）において、どらりん劇団
 による“暮らしの文化”のお芝居を披露（H30.11.22 会場：中京区役所大会議室）
- ・京都市PTAフェスティバル（第21回）において、天才アート KYOTOのお絵かきコーナー、
 作品展示を開催（H30.12.8 会場：みやこめっせ） 等



どらりん劇団による“生活文化のお芝居”



親子で体験！京の地蔵盆



天才アートKYOTOのお絵かきコーナー

「マイ文化」の発信企画
Leaf12月号に記事掲載

Q 私たちが
できることって何？

A 「文化は多から」を合言葉に「文化庁京都移転 私たちが
できること推進チーム」(※)では SNS を活かしたプロ
ジェクトに取り組んでいます。日々の何気ない暮らしの
様子や街の景色などから感じる文化を、マイホームとして
#マイ文化 のハッシュタグをつけて、ツイ
ッターやインスタグラムで
つぶやいたり、写真を投稿してませんか。私たち一
人ひとりが今まで見過ごしてきた、暮らしにまつ
文化に気づくこと に毎日を感じ
ずかになってくれるはずです。

#マイ文化

①ハッシュタグを付けて、
自分だけの
マイ文化を発信しよう！

②マイ文化

③マイ文化

④マイ文化

※文化庁京都移転推進「私たちができること推進チーム」は、京都府
と連携して「文化庁京都移転推進文化推進部」の設置・稼働に先駆け、
市民で構成された「文化の力で日本を元気にする会」に、街の
文化に気づける「街・みんなごと」として働き、行動するチーム。